

## 北九州市型外国語教育の推進について

### 1 経緯

- これまで本市では英語教育リーディングスクールでの先進的な実践と普及・ALTの全校配置・教員の指導力向上・その他、様々な形で外国語教育を推進してきた。
- 全国学力・学習状況調査（英語）【対全国比】R元年度91% R5年度88%  
【結果分析】授業改善に成果（即興性・やり取りの回答 全国上回る）。「話すこと」「書くこと」に課題。
- 国の「第4期教育振興基本計画」では、グローバル化に対応するため、英語力の目標が、CEFR A1レベル（中学3年時点）「50%以上」を目標として掲げられている。
- 本市でも北九州市基本計画において、「彩ある『人』を育む」の中で、グローバル人材の育成に向けた教育の推進が示された。

⇒ このような状況から、北九州市の外国語教育を総合的に高める

**小・中学校9年間を通した「北九州市型外国語教育」を推進する**

### 2 「北九州市型外国語教育」の概要

#### (1) 目的「最終 GOAL」

**グローバル社会で活躍し、世界と北九州市の架け橋となる人材の育成**

#### (2) 目指す子ども像

北九州市に誇りをもち、(英語で)自分の考えや気持ちを 積極的に伝えることができ、学び続ける子ども

#### (3) 育成する3つの力

●コミュニケーション能力 ●異文化理解の精神 ●主体性・積極性・協調性

#### (4) 具体的な取組み

- 1 小学校1・2年からの外国語体験活動「英語大好きタイム」の実施
- 2 「北九州市型外国語教育ハンドブック」(ALT等との1対1のやり取りを重視した指導案、補助教材、動画等)を活用したカリキュラムの実施
- 3 外国語を使った 小中連携による活動(小中交流授業や学校行事等)の実施

### 3 スケジュール

- ▼令和6年3月 北九州市型外国語教育ハンドブック(暫定版)の作成終了
- ▼令和6年4月～ 英語教育リーディングスクール(先行実施校)での実施
- ▼令和6年6月～ 全市小中学校(管理職及び教員の)研修を実施
- ▼令和7年4月～ **全市における北九州市型外国語教育の実施開始**

# 「北九州市型外国語教育」で目指す子ども像

## 世界と北九州市の懸け橋になる人材を育成するため 中3卒業時の姿につながるよう各段階で指導



※北九州市型外国語教育でアウトプットに活用する授業時数

小学校1・2年  
外国語体験活動  
※学年毎に8単位時間  
(1年生は7単位時間)

小学校3・4年  
外国語活動  
※学年毎に6単位時間

小学校5・6年  
外国語科  
※学年毎に6単位時間

中学校1・2年  
外国語科  
※学年毎に8単位時間

中学校3年  
外国語科  
※学年毎に8単位時間

各発達段階において目指す資質・能力と子ども像

コミュニケーションの下地づくり  
英語に触れ、絵本や歌を自分から楽しもうとする子ども

コミュニケーションの素地作り  
英語を聞いたり話したりすることに積極的に取り組む子ども

コミュニケーションの基礎作り  
簡単な英語で自分の考えや気持ちを伝え合うことができる子ども

コミュニケーションの基礎固め  
英語で話したり、書いて、自分の考えや気持ちを発信できる子ども

コミュニケーションの基礎完成  
英語で話したり、書いて、自分の考えや気持ちを発信できる子ども

コミュニケーション能力

担任の先生やALT、学級の友だちと楽しく英語で遊ぶ。  
英語の音声やリズムに慣れ、日本語との違いを感したり、外国人の先生に親しんだりする。

友だちや学校のことなど身近な事柄について聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝え合おうとする。

目的・場面・状況に応じて、相手の話を聞いたり、自分の考えや気持ちを既習事項を活用して伝え合うことができる。

目的・場面・状況に応じて、日常的な話題に加えて社会的な話題についても自分の考えや気持ちを発信できる。

目的・場面・状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について自分の考えや気持ちを「まともな英語で適切に」発信できる。

異文化理解の精神

担任の先生やALTの先生の英語を積極的にまねしたり、絵本や歌を自分から楽しもうとする。

先生の話す英語を聞いて、自分から言ってみようとしたり、友だちとのやり取りに積極的に取り組んだりすることができる。

自分からコミュニケーションを取り、相手の話を聞いたり、自分の考えを伝えたりすることに積極的に取り組むことができる。

主体的にコミュニケーションを図り、状況に応じて適切な英語を使い、自分の考えや気持ちを伝えたりすることができる。

日本や北九州市の文化、また外国の文化に興味を持ち、その違いを感じ取りながらコミュニケーションを図ることができる。

主体性 積極性 協調性

担任の先生やALTの先生の英語を積極的にまねしたり、絵本や歌を自分から楽しもうとする。

先生の話す英語を聞いて、自分から言ってみようとしたり、友だちとのやり取りに積極的に取り組んだりすることができる。

自分からコミュニケーションを取り、相手の話を聞いたり、自分の考えを伝えたりすることに積極的に取り組むことができる。

主体的にコミュニケーションを図り、状況に応じて適切な英語を使い、自分の考えや気持ちを伝えたりすることができる。

1・2年生の内容に加え、継続して言語や文化を学ぶ姿勢をもつことができる。

言語活動の充実のために

英語大好きタイム  
歌や絵本を活用  
歌を聴いて口ずさむ、絵本の英語を楽しんだり

ファンタイム  
英語劇やごっこ遊びなど楽しんで英語を使ったり

ハローマーマンスタイル  
複数単元の言語活動をおし  
て学んだ英語を使って自分の考えや気持ちを表現する

ハローマーマンシステム  
単元ごとにコミュニケーションを行う目的・場面、状況を適切に設定したアウトプット活動を行う  
単元の言語活動をおして獲得した知識・技能を活用し、自分の考えや気持ちを表現する  
内容面、言語面から振り返る

1・2年生の内容に加え、継続して言語や文化を学ぶ姿勢をもつことができる。

小と中をつなぐために

小学校と中学校の接続を円滑にするための発展的プログラムの実施（小中オンライン交流授業、小中合同授業、小中連携行事）  
同じ中学校区の児童生徒や異学年の児童が交流したり、小学校どうしで連携したりすることで言語活動を充実

小学校と中学校の接続を円滑にするための発展的プログラムの実施（小中オンライン交流授業、小中合同授業、小中連携行事）  
同じ中学校区の児童生徒や異学年の児童が交流したり、小学校どうしで連携したりすることで言語活動を充実

小学校と中学校の接続を円滑にするための発展的プログラムの実施（小中オンライン交流授業、小中合同授業、小中連携行事）  
同じ中学校区の児童生徒や異学年の児童が交流したり、小学校どうしで連携したりすることで言語活動を充実

小学校と中学校の接続を円滑にするための発展的プログラムの実施（小中オンライン交流授業、小中合同授業、小中連携行事）  
同じ中学校区の児童生徒や異学年の児童が交流したり、小学校どうしで連携したりすることで言語活動を充実

小学校と中学校の接続を円滑にするための発展的プログラムの実施（小中オンライン交流授業、小中合同授業、小中連携行事）  
同じ中学校区の児童生徒や異学年の児童が交流したり、小学校どうしで連携したりすることで言語活動を充実

### GOAL

北九州市に誇りを持ち、自分の考えや気持ちを積極的に伝え、学び続ける子ども

伝え合う  
分かち合う  
学び合う

目指す子ども像を表現するための3つのキー

## ■「北九州市型外国語教育」開始までのスケジュール

項目	令和5年度						令和6年度						令和7年度		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
先行実施校 (LS校)				先行実施校での試行、検証 ・修正		9年間を見通したハンドブックによる授業公開・ハンドブックの修正に関する情報共有						ハンドブックの成果・課題・ 改善案などのまとめ			
志井小学校	校内教職員への説明 ・実施内容の把握 ・令和6年度の準備				1年前倒して実施 ※9月以降に可能な学年のみ授業公開を行う						※外部試験の実施(12月予定) ※事前研修→授業実践→英語力調査→事後研修	ハンドブックの成果・課題・ 改善案などのまとめ			
市内小・中学校			ハンドブック 書定版の 確認・校內周 知			<北九州市型外国語教育研修> ●北九州市型外国語教育の説明 ●低学年の英語大好きタイムに関する研修 (6/27) ●中・高学年のファンタイム(Fun Time)、 パフォーマンスタイムに関する研修 (6/17) ●中学生のパフォーマンステストに関する研修 (7/5)			<各モデル校への授業研究会への参観(悉皆)> ※各学校においては、リーディング校の公開授業を参観し、 全校実施に向けて、取組内容について研修を深めるととも に、校内で研修を行い全職員の共通理解を図る。			ハンドブックの成果・課題・ 改善案などのまとめ			令和7年度実施に向けての準備
							計画的な校内研修の実施								
						北九州市型外国語教育研修を受けて、 各学校内で伝達研修を行う						※小学校 英検ESG(全校実施) 各学校へのフィードバック ※中学校 英検IBA			

学校関連